

【トピックス】

(P.1) 第39期アジア社会福祉従事者研修 始動！

(P.2) 第39期生の研修状況 報告

(P.3) 生活困窮家庭等の子どもの教育・自立を支援 -「アジアの子どもたちに寄り添い、育む」プロジェクトWEBミーティングの開催

(P.4) アジア各国と日本のパートナーシップで、福祉の未来を変える -令和7年度第1回国際社会福祉基金委員会の開催

第39期アジア社会福祉従事者研修 始動！

～2025年は6か国から6名のソーシャルワーカーが参加！～

研修期間：2025年3月12日～2026年2月20日

韓国 キムさん



好きな事

アニメやJPOP等、
日本文化が大好きで何度も
日本に、訪れています！

仕事

障害・高齢・児童と
幅広く福祉活動に従事
してきました。現在は地域の低所得
世帯の家庭への支援をしています。

学びたい こと

日本と韓国の福祉課題はとても似ていますが、
特に、コミュニティケアに関心があります。施設
と地域社会がどのように連携しているのかを学
び、母国で活かしたいと思っています！

自己紹介動画のYouTubeリンク

<https://youtu.be/siQl3SPZkd4>



台湾 ホワンさん



好きな事

音楽が好きで、学生時代は
バンドを組んでいました！日本の
アイドルも好きで、何回もコンサ
ートで日本に訪れています！

仕事

母国では性的搾取の
被害を受けた子どもや
青少年に対するカウンセリングに
取り組んでいます。

学びたい こと

児童養護施設での子ども達の生活を経験し、日々
職員の方々がどのように支援を行っているのか
を学びたいです。

自己紹介動画のYouTubeリンク

https://youtu.be/hl9_otfIwok



タイ アイスさん



好きな事

食べ物は辛い料理と麺料理が
好きで、イベントはクリスマス
が大好きです！日本で沢山、ラ
ーメンを食べたいです！

仕事

児童養護施設で、主に通訳と
広報を担当しています。ミャン
マーの子ども達にタイ語を教
えることもしています。

学びたい こと

日本に住んでいる外国人や、地域に住んでい
るサポートが必要な方々にどのような支援
を行っているのかを学びたいです。

自己紹介動画のYouTubeリンク

<https://youtu.be/Fdv3VuKqBz4>



フィリピン エイプリルさん



好きな事

歌うこと・音楽を聴くことが、
好きです。自然も大好きなので
日本で沢山自然な場所を観光し
たいです！

仕事

通所型の障害者施設で、精神障害
者や知的障害者の、ケースマネ
ージャーとして支援をしています。

学びたい こと

インクルーシブな環境づくりや、地域
に住む障害者・障害児に対して地域と
施設がどのようにサポートをおこな
っているのかを学びたいです。

自己紹介動画のYouTubeリンク

<https://youtu.be/fEtBDIEeDVw>



スリランカ サミーラさん



好きな事

写真を撮ることや、動画を作成する
ことが大好きです。日本でも様々な
観光地で写真を撮りたいです！

仕事

障害児を含む子どもや若者とその
家族に対して、年齢に応じた支
援を実施する職場で、現場のコ
ーディネーターをしています。

学びたい こと

日本のソーシャルワークの方法を学び母国で実
践したいです。また、日本の社会福祉の制度や
政策を学び、母国の社会福祉のシステム構築に
貢献したいです。

自己紹介動画のYouTubeリンク

<https://youtu.be/pRw1OzCBcc4>



インドネシア ハディさん



好きな事

コーヒーが大好きです！また、
ボランティア活動も好きで
す！活動すると、とても幸せ
な気持ちになります。

仕事

現場コーディネーターおよびフ
ァシリテーターとして障害者の
活動を支援し、サービス利用者
全体をサポートしています。

学びたい こと

障害者等、特にサポートが必要な人々への就労
支援や地域と連携して、どのようにインクル
ーシブな環境づくりに取り組んでいるのかを学
びたいです。

自己紹介動画のYouTubeリンク

<https://youtu.be/l--UdgBO ns>



第39期生の研修状況 報告

～第1回福祉実践研修：7月15日～8月28日【45日間】～

第1回目の福祉実践研修として、来日してから、初めての約1か月半に及ぶ日本の福祉施設での研修を実施しました。今回の研修先では、国際事業に協力いただける福祉関係者を増やしていこうという目標を掲げ、今までご協力いただいていた法人以外にも、受け入れをお願いし、新たに4つの法人にご協力いただきました。また日本の福祉施設の現況を知るために、分野ごとの専門的な学びではなく複合的に日本の福祉を学ぶように研修プログラムを組んでいただきました！

new キムさん 社会福祉法人 桃林会 大阪府

桃林会は地元の自治の向上のために、コミュニティケアに力を入れています。地域の福祉課題を把握し地域イベントや子ども達の居場所づくりを提供する等地域住民と共に福祉課題に取り組んでいます。



【キムさんより一言メッセージ】
地域の福祉活動として子ども食堂や子どもたちの居場所づくり、駄菓子屋プロジェクト夏祭りなど様々なイベントに参加し、法人と地域住民の方々が協力して福祉課題に取り組んでいることが韓国にはない新たな学びとなり、良い経験となりました。

ホワンさん 社会福祉法人 みねやま福祉会 京都府

みねやま福祉会はまさに今福祉のトレンドとなっている児童・障害・高齢という分野を超えて多様なニーズにこたえる【ごちゃまぜの福祉】を取り入れている法人です。



【ホワンさんより一言メッセージ】
複数の施設を訪問し、「管理より生活を」という理念の実践を肌で感じました。特に1か月間過ごした児童養護施設「てらす峰夢」では、職員の皆さんが子どもたちと良好な関係を築き、日常の中で少しずつ心の傷を癒していく姿に深く感銘を受けました。

new アイスさん 社会福祉法人 峰栄会 静岡県

総合福祉施設として、「0歳から100歳まで」多世代が一つ屋根の下で生活できる空間により、だれもが地域で生活できる居場所を目指しています。



【アイスさんより一言メッセージ】
ソーシャルワーカーの役割とチームワークを理解し、家族・地域・施設との連携の大切さを実感するとともに、子どもの発達を観察し支援する方法を学ぶことができました。

エイプリルさん 社会福祉法人 肥後自活団 熊本県

障害児の入所施設と障害者の入所施設を備えており、利用者の成長段階に合わせたケアを重視しています。また「日中一時支援」など、地域生活における柔軟な支援も実施しています。



【エイプリルさんより一言メッセージ】
障害のある子どもや大人だけの支援だけでなく、保護者の方も含めた総合的なサポートを学ぶことができました。特に、痛癢を起す子どもに対しての職員の方々の声掛けや支援が素晴らしいと思いました。

new サミーラさん 社会福祉法人 ライフの学校 宮城県

開かれた施設で、すべての人と共に学ぶ「ライフの学校」。世代を超えた知恵や経験が集まり、自然な支え合いと交流が日々生まれています。



【サミーラさんより一言メッセージ】
初めての高齢の障害者の方々に対しての支援で、不安もありましたが、利用者さんも職員さんも優しく楽しく充実した研修となりました。メンタル面でも健康面でも良い活動が沢山あり、ぜひ、スリランカに帰って取り入れたいと思いました。

new ハディさん 社会福祉法人 来島会 愛媛県

インクルーシブな福祉環境として、プロサッカークラブFC今治と連携し、スタジアム内に誰もが居場所を感じられる福祉施設を設置し、多様な人々が自然に交流できる場を目指しています。



【ハディさんより一言メッセージ】
障害者の方々のコミュニケーションツールとしてカードを使用していたことが印象に残っています。また10か所の拠点で研修をした中でも就労支援での研修が印象に残り、支援のプロセスに興味を湧きました。

生活困窮家庭等の子どもの教育・自立を支援

～「アジアの子どもたちに寄り添い、育む」プロジェクトWEBミーティングの開催～

全社協 国際交流・支援事業では、「アジアの子どもたちに寄り添い、育む」プロジェクトを実施しています。2023年にスタートした本事業は、今年3年目を迎えています。これまでの支援の状況や課題等を共有し、今後の支援方針を検討するため、各国のプロジェクトチーム(修了生)とのWEBミーティングを行いました。

「アジアの子どもたちに寄り添い、育む」プロジェクト とは？

- ・ 生活困窮等を理由に、教育の機会を得られない子どもの就学・職業訓練を支援するプロジェクト。
- ・ 支援対象国は、フィリピン、タイ、マレーシア、スリランカ、インドネシア。
- ・ 修了生がプロジェクトチームをつくり、日本からの助成による経済的支援と心の支援の両面を実施。
- ・ 2023年にスタート。 3年間で45名の子どもに対し、478万7,890円を支援。

●各国の支援状況

※2026年5～6月に実施したWEBミーティングの内容を全社協国際福祉協力センターにより整理したもの

フィリピン

地域に出向き、貧困家庭の子どもに支援を届ける

「他の支援が届かない子どもを支援。継続的に支援が必要な子どもが多く、その方策に苦慮しています」

- ・ 現在、7名を支援。全員が就学支援。
- ・ 特に経済的に貧しい状況にある、原住民の子ども、親のいない子ども、被虐待等で困難な状況にある子どもを支援。
- ・ 修了生は子どもと話す機会を定期的につくり、相談に乗りながら、ともに自立に向けて将来を考えている。親に対しても、子育て等に関する情報を提供し、ともに子どもを育てる信頼関係を築いている。



「日本にあなたのことをサポートしてくれる人たちがいる」ということが、子ども達の自尊心を育てています(フィリピン修了生より)



各国の修了生(プロジェクトチーム)とWEBミーティングを実施。(上記写真は、タイのプロジェクトチームとのミーティングの様子)

タイ

難民等で支援が行き届かない子どもへの職業訓練

「紛争から逃れ、国籍がないために国の教育や支援を受けられない子どもの自立を支援しています」

- ・ 現在、7名を支援。職業訓練5名、就学支援2名。
- ・ 紛争から逃れた難民が国境地帯で生活しているが、国籍がなく、公的な支援を受けることができていない。特に、義務教育修了後の自立支援を受けられない子どもが多い。
- ・ 公的な支援を受けられない子ども達に対し、学校やNGO等と協力しながら情報を届け、支援している。

マレーシア

修了生の所属団体を利用している貧困家庭の子どもを支援

「自己肯定感が低く、将来に自信を持っていない子どもに寄り添い、精神的な支援にも力を入れています」

- ・ 現在、5名を支援。全員が就学支援。
- ・ 修了生の所属団体を通じ、日ごろより経済的に困窮している家庭の子どもの教育や自立を支援している。多民族国家のため、少数民族の子どもは、教育機会の不平等を感じるケースもある。
- ・ 特に経済的に貧しく、自己肯定感が低い等、精神的にもサポートが必要な子どもに対し、より手厚いケアをするためにこのプロジェクトを活用。

スリランカ

児童養護施設 退所児への自立支援を中心に展開

「児童養護施設退所児への支援が少ない現状。退所後のフォローアップのため、プロジェクトを活用しています」

- ・ 現在、10名を支援。職業訓練5名、就学支援5名。
- ・ 児童養護施設退所児への支援が少なく、退所後に行き場所がなかったり、安定した職に就けない子どもが多い。
- ・ 3年間の支援により、職業訓練を受けて就職が決まったり、安定した職につながる資格を取得できたり、自信をつけて社会に出るサポートができた。

インドネシア

地域のソーシャルワーカーと連携 困窮家庭の子どもを支援

「親の貧困等を理由に学校に通えない子どもを支援。修了生が家庭訪問等を行いニーズ把握～支援を実施」

- ・ 現在、5名を支援。全員が就学支援。
- ・ 国内に奨学金や助成金等の制度はあるが、それを使える子どもは非常に限定的で、貧困家庭の子どもの多くは使うことができていない。
- ・ 職業訓練中の子ども達は、3年間の支援で自立できる見通しが立った。義務教育期間中の子どもたちの教育支援を長期的に継続していく方法を探すことが課題。

今後も、各国の修了生とともに、子ども達の教育支援・自立支援について考え、よりよい支援につなげる方法を検討しながら、プロジェクトを継続していきます。

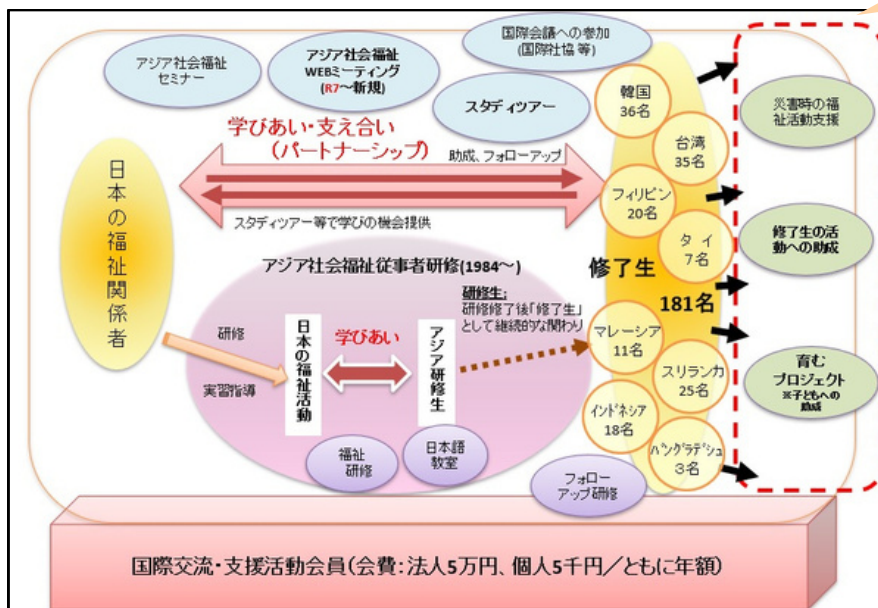
アジア各国と日本のパートナーシップで、福祉の未来を変える ～令和7年度第1回国際社会福祉基金委員会の開催～

8月6日に、令和7年度第1回国際社会福祉基金委員会を開催しました。

全社協の国際交流・支援事業と国際社会福祉基金委員会

- 全社協 国際交流・支援事業は、1979年の国際児童年を契機に終戦直後にララ物資などで救われた福祉関係者による呼びかけで、全国から寄せられた拠金によりスタートしたもの。1984年には、現在に続く「アジア児童福祉従事者長期研修（現：アジア社会福祉従事者研修、以下「アジア研修」）」を開始。本研修の修了生が、アジア各国と日本をつなぐ要となり、さまざまな事業を実施。
- こうした活動は、全国から寄せられた拠金を基金として管理・運用・実施しており、「国際社会福祉基金委員会」は、その基本方針を策定し、企画を推進することを目的に設置されている。

第1回委員会では、アジア研修がスタートしてからの約40年間の変化を踏まえ、修了生と日本の福祉関係者がより強固な「パートナーシップ」を築き、各国の福祉を発展させるための活動方針について協議しました。令和7年度の国際交流・支援事業は、「**学びあい・支え合い**」をキーワードに、WEBミーティング等を取り入れながら、日本も含めた各国の福祉の未来をよりよく変えていくための事業を展開していきます。



全社協の国際交流・支援事業

「アジアの福祉ネットワーク」のプラットフォーム
各事業のつながり・拡がりのイメージ

各事業の進捗状況については、NEWS LETTER（本紙、年3回発行予定）で発信していきます。

また、令和7年度は、現地に出向き他国の福祉を学ぶ「スタディ・ツアー」や、zoomを使用し各国の修了生と情報交換・意見交換を行う「WEBミーティング」等を開催する予定です。参加募集等は、「**国際交流・支援活動会員**」にご登録いただいている皆さまを中心にご案内します。



国際交流・支援活動会員について

<https://www.shakyo.or.jp/bunya/kokusai/member/index.html>



アジア各国で新たな福祉活動、さまざまな福祉ニーズに対応する修了生の活動を応援！

アジア社会福祉従事者研修 修了生福祉活動助成事業 2024年度実施報告 を発行しました

《2024年度助成の概要》

- 4か国（フィリピン、タイ、スリランカ、インドネシア）の修了生の福祉活動を助成。
- 今回の助成先は、共生コミュニティの構築やボランティア育成等の地域福祉活動、児童養護施設入所児の家庭支援、障害児の親への支援など、8事業。



報告書(全文pdf)
WEBで公開中！

<https://www.shakyo.or.jp/bunya/kokusai/member/index.html>